

赤とんぼフォーラムで児童が調査発表

■9月27日 すこやか



赤とんぼフォーラム2014が開催され、荒土小、野向小、三室小の児童が赤とんぼの生態調査結果を発表しました。前園泰徳さんの講演や、エコ環境都市推進活動の表彰式も合わせて行われました。

秋晴れに力走！市内駅伝大会

■9月28日 市内一円



第60回勝山市内駅伝競走大会が開催され、市内9地区の選手たちが14区間でタスキをつなぎました。なお勝山地区が2年ぶりに優勝を果たしました。

デジタル教材パソコンを寄贈

■10月1日 市役所



ケイター情報システム株式会社創立30周年を記念し、同社より学校備品としてノートパソコン3台を寄贈いただきました。

HOT話題

消防指揮車を導入

■9月5日 勝山市消防本部



勝山市消防本部で初めてとなる指揮車が導入されました。火災や災害現場で消防本部との連絡を担い、現地での指揮本部となります。

熱戦！市民相撲大会

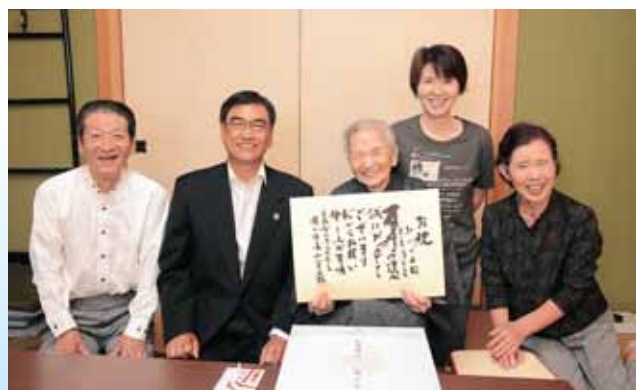
■9月18日 神明神社



第60回市民体育大会相撲競技会が開催され、各地区代表選手が白熱した取組が行われました。地区対抗団体戦では荒土チームが優勝しました。

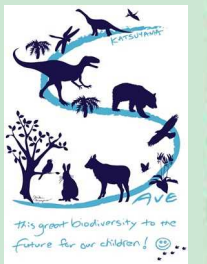
百歳を祝い訪問

■9月25日 芳野町1



この9月で百歳の誕生日を迎えられた細川りよさんを山岸市長が訪ね、お祝い状と記念品を贈りました。

「勝山エコマイフ」コラム



第29回 4年目の赤とんぼ調査

まずは、市制60周年記念において特別表彰をいただき、ありがとうございます。これまでの活動が少しでも皆様や子どもたちの将来をより良いものにすることに貢献できていれば幸いです。

◆赤とんぼ調査から好ましい変化が

さて、恐竜と並び勝山市の代名詞になりつつある「赤とんぼ」の調査が、4年目を迎えています。今、たくさんの赤とんぼ（特にアキアカネ）が、水田に集まって産卵しています。この勝山市では当たり前の景色と、そこにおける取り組みが、全国から注目されています。

9月27日には、第4回目の赤とんぼフォーラムが行われました。調査を行った小学生の発表に始まり、私が今年の発見（特に勝山市から白山への移動確認）や活動の拡がりについて報告しました。今年は幼稚園や保育園も調査に参加し、さらにそこに市民調査員や保護者が加わるという特筆すべき変化がありました。次に東邦大学の菅原さんが、アキアカネの移動場所を予測する研究について発表しました。

その後、石川県立大学の草光さんは、勝山市の小学生の保護者を対象としたアンケート結果を発表してくださいました。アンケートでは、赤とんぼ調査に参加している子どもを通して家族内の会話が増え、子どもたちにも保護者にも、好ましい変化が生じていることが明らかになりました。

同じく石川県立大学の山田教授は、勝山市では、「ただの虫」であった赤とんぼに、多くの方が価値を見出していることや、赤とんぼがたくさんいる水田のお米を食べたいと思っていることが伝えられ、勝山市での活動を高く評価していただきました。

最後にはオカリナサークルの方々や松文保育園の子どもたちによる赤とんぼの歌の演奏と合唱が行われ、会場が1つになりました。

幼児から高齢者までが、最新の研究に携わりながら赤とんぼを大切にしていこうという活動は、全国でも例がありません。今後も、勝山市が赤とんぼにとっても、人にとっても暮らしやすいまちになるよう、活動を続けていきたいと思っております。

恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク



ガラス質安山岩

が、それらの山々に続く登山道や林道沿いには、火山由来の滝壁や切り立った岩壁が多く見られます。また、

日本列島は、世界的に見ても有数の火山列島と言われています。国内で一番火山が多い都道府県はどこでしょうか？それは、意外にも東京都なのです。逆に福井県は「活火山（過去1万年以内に噴火を行ったもの）」がない21の都道府県のひとつです。市内から遠望できる白山は活火山ですが、石川県、岐阜県にまたがり、地理的には福井県に入りません。

しかし、今から約60万年前までは、勝山市でも火山活動が行なわれていたことが火山の調査研究でわかっています。九頭竜川の右岸方向にある越前甲、取立山、大長山、赤兎山、法恩寺山、経ヶ岳などといった1000m超の山々は、全て過去に火山活動を行っていました。これらの山々が火山であったことは、意外にも勝山市民に知られていません。登山をされる方々はご存じかもしれませんが、

—第4回— 勝山にも火山があった!?



芳野ヶ原溶岩台地（法恩寺山）

角張った岩石がごろごろと転がっています。中でも法恩寺山周辺では、火山活動による特徴的な溶岩を見ることができず。それは、「ガラス質安山岩」と呼ばれるもので、黒い色をしたとても硬い溶岩です。その黒く硬い溶岩は、かつて法恩寺山から噴出したマグマが急激に冷え固まってできたものです。緩やかな溶岩台地（芳野ヶ原台地）をつくっており、冬季にはスキー

ジャム勝山のスキーゲレンデとして活用されています。また、その溶岩は縄文時代を中心に矢じりなどに加工されて使用されていたことが、市教育委員会の長尾山遺跡調査でわかっています。

法恩寺山周辺は、火山活動による地形・地質遺産のほか、豊かな生態系、勝山市の歴史、そして、アクティビティなどを夏冬問わずに楽しめるジオサイトです。

問 観光政策課（市役所2階）
☎88・8117

